

SA88-5996-00

# IBM ThinkPad 560X

## 使ってみよう ThinkPad



IBM

SA88-5996-00

**IBM ThinkPad 560X**  
**使ってみよう ThinkPad**

ご注意

本書をお読みになり、本書がサポートする製品をご使用になる前に、必ず37ページの付録A、『特記事項』をお読みください。

電波障害自主規制 届出装置の記述

この装置は、第二種情報装置（住宅地域またはその隣接した地域において使用されるべき情報装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）基準に適合しております。

しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信障害の原因となることがあります。

本書に従って正しい取り扱いをしてください。

第 1 版 (1997 年 11 月)

原 典	P/N 05L1290 IBM ThinkPad 560X Up and Running
発 行	日本アイ・ビー・エム株式会社
担 当	ナショナル・ランゲージ・サポート

Copyright International Business Machines Corporation 1997. All rights reserved.



Translation: Copyright IBM Japan 1997

## 安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、本製品を安全に正しくご使用いただくための安全表示が記述されています。この取扱説明書を保管して、必要に応じて参照してください。

### 絵表示について

この取扱説明書および製品への安全表示については、製品を正しくご使用いただいて、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 <b>危険</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### 危険/注意ラベルの表示について

この製品の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全上に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示に従ってください。

この取扱説明書に記述されている内容以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合は（たとえば製品上）、必ずそのラベルの表示による指示に従ってください。

### **危険**

本製品を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。タコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

本製品は、付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードを破損し、火災、感電のおそれがあります。

コンピューターの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ線接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。

万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が機器の内部に入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜き、バッテリー・パックを取り外して、販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

電池について

本製品には、次の 2 種類の電池が使用されています。

- バッテリー・パック（本体の主電源用で着脱可能）
- リチウム電池

バッテリー・パック以外の電池は専門の担当者によってのみ交換されます。電池の交換については、お買い求めの販売店または IBM サービス・センターまでお問い合わせください。

電池の取扱いを誤ると、発熱、発火、破裂のおそれがあります。

電池は幼児の手の届かない所に置いてください。万一、幼児が電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

次の行為は絶対にしないでください。

- 水にぬらすこと
- 100 以上の過熱や焼却
- 分解や、本体や専用の機器以外による充電

電池は、地方自治体の条例または規則に従って破棄してください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。

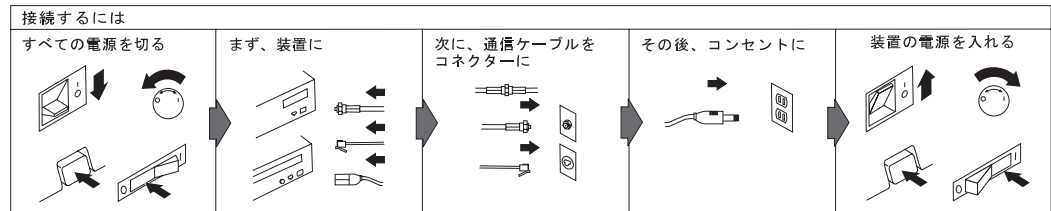
充電式バッテリー・パックを分解、焼却、ショートさせないでください。

外付けモニターのカバーは開けないでください。内部には高電圧部分があり危険です。

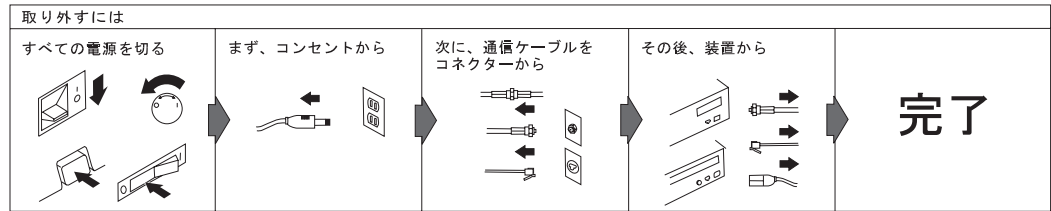
## ⚠危険

### ケーブル類の取付け、取外し順序

電源コード、電話ケーブル、および通信ケーブルには危険な電流が流れています。感電を防止するために、コンピューターまたは接続装置を設置または移動するとき、またはカバーを開ける際には、下記の手順でケーブルの接続および取外しを行ってください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続をしないでください。



電話ケーブル、通信ケーブルまたはテレビのアンテナ線を接続する製品は、雷の発生時にはケーブルの接続および取外しをしないでください。

## ⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。(必ずプラグを持って抜いてください。)

湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。

連休などで長期間使わないときは、バッテリー・パックを本体から抜いておいてください。

液晶ディスプレイ (LCD) 内の蛍光灯の中には水銀が含まれています。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に捨てないでください。液晶ディスプレイの廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従ってください。

液晶ディスプレイはガラスで作られており、コンピューターを乱暴に扱ったり落としたりすると壊れることがあります。液晶ディスプレイが壊れて内部の液体が眼に入ったり、手についたときは、すぐに水で 5 分以上洗ってください。何らかの症状が残る場合は、医師の診断を受けてください。



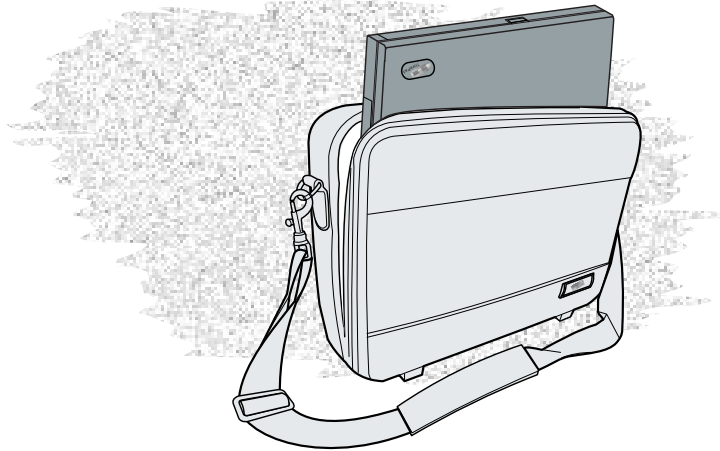
## 使ってみよう ThinkPad

本書は、Windows 95 が導入済みの IBM ThinkPad 560X ノートブック・パソコンをご使用になる方を対象にしています。

まさにインターネット時代と言える今日、多くのパソコン・ユーザーが自分のパソコンをインターネットに接続して、さまざまな情報を得たり商品やサービスを購入したりしています。ノートブック・パソコンももちろん例外ではありません。例えば、IBM ThinkPad 560X ノートブック・パソコンでネット・サーフィンやファックスの送受信などが思うがままに行える時代がきています。

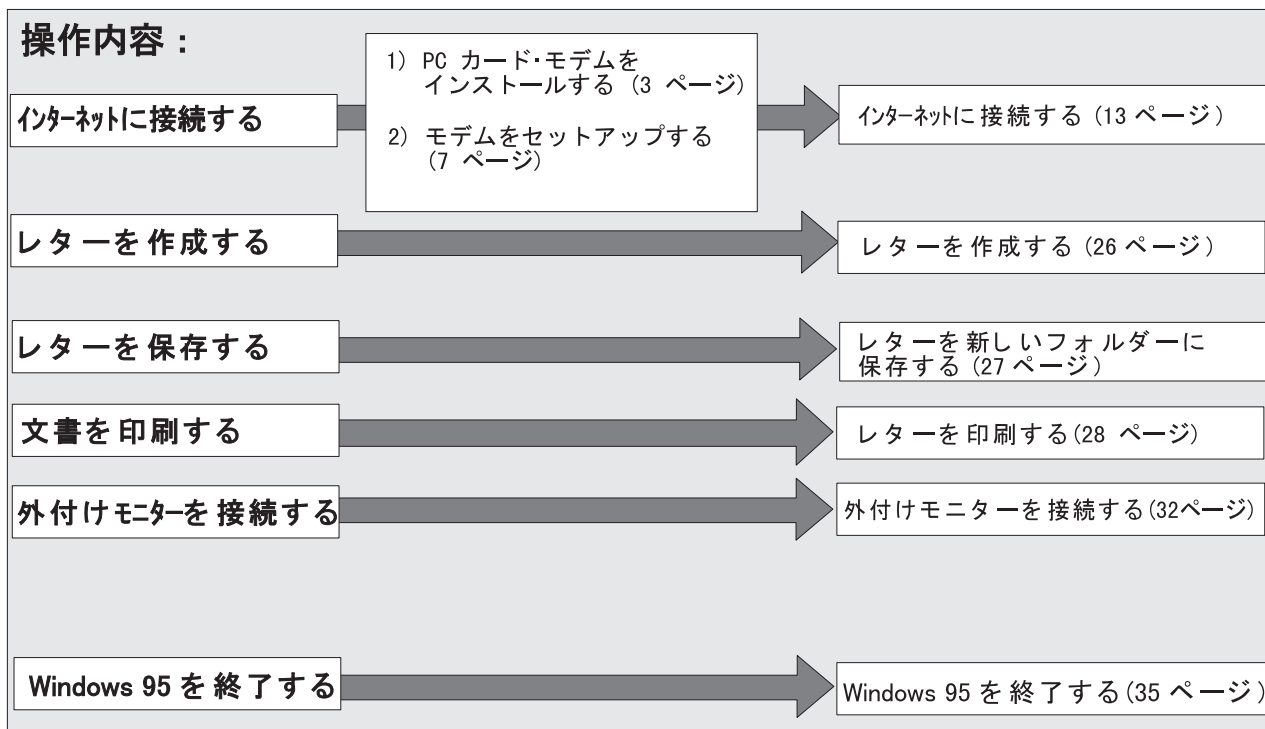
本書では、ThinkPad 560X ノートブック・パソコンの活用例 (以下、タスクと表記します) をいくつか紹介します。

# *ThinkPad 560X*

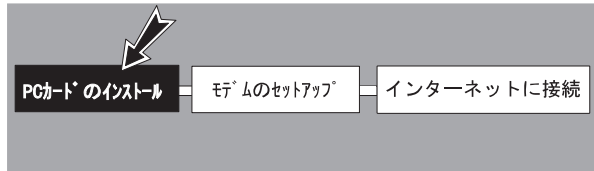


## 内容

以下の図では、各タスクを行うためのそれぞれの作業が本書中の何ページに解説してあるかを示しています。



## PC カード・モデムをインストールする



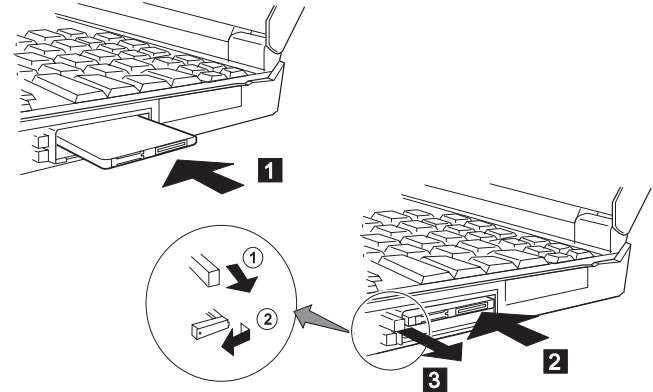
PC カード・モデムを使用するとインターネットに接続することができます。ここでは、IBM PC カード・データ/ファックス・モデムを例にして説明します。以下、PC カード・モデムと呼びます。

注: モデムによっては、デバイス・ドライバ・ディスクが必要であったり、IBM PC カード・データ/ファックス・モデムと異なる電話線コネクタが付属している場合があります。IBM PC カード・データ/ファックス・モデムと異なるモデムをご使用の場合は、ご使用のモデムの説明書に従ってください。

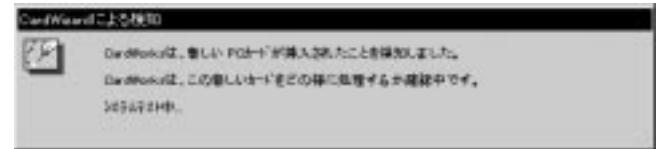
ここでは、まず PC カード・モデムのセットアップ方法について説明します。

- 1 ThinkPad の電源を入れます。Windows 95 のデスクトップが画面に表示されます。

- 2 PC カード・モデム 1 を上側の PC カード・スロット (スロット 1) 2 に排出ボタン 3 が飛び出すまでしっかり差し込みます。

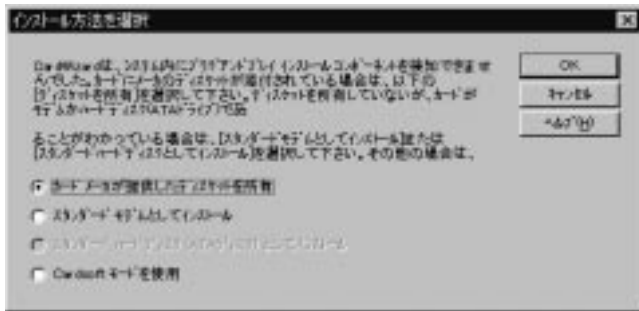


次に、排出ボタンを少し引き出し、左側に倒します。ほんの少しの間、次のウィンドウが表示されます。



## PC カード・モデムをインストールする

お使いの ThinkPad に PC カード・モデム が初めて 差し込まれた場合、または PC カード・モデムのための CardWizard ソフトウェア用デバイス・ドライバ が存在しない場合に、次のウィンドウが表示されます。



ステップ 5 に進んでください。 .

次のウィンドウが表示された場合は、ステップ 3 に進んでください。



**3** ユーザー情報を入力します。欄から欄への移動には、Tab キーを使用します。

国番号を選択します。

▼ をクリックして国番号 (日本 81) を選択します。

市外局番

あなたの所在地の市外局番 (03 など) を入力します。

外線発信番号

外線用の発信コード (市内用と長距離用) を入力します。

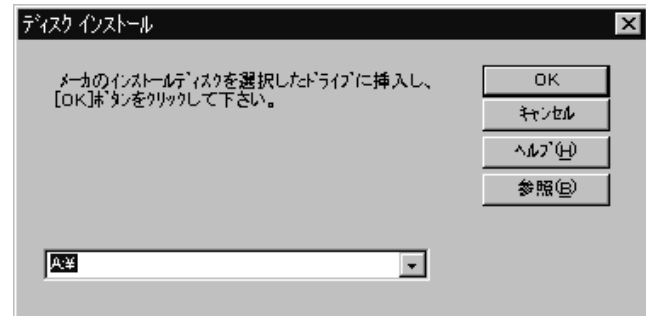
ダイヤル方法

「トーン」、または「パルス」をクリックします。

**4** 「OK」をクリックすると、“SystemSoft CardWizard - カード情報” ウィンドウが表示されます。ステップ 8 (6ページ) に進んでください。 .

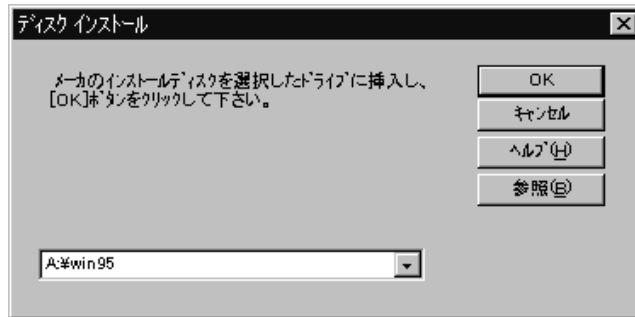
**5** 「OK」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- 6 PC カード・モデム用のデバイス・ドライバー・ディスクレット (またはオプション・ディスクレット) を、ThinkPad のディスクレット・ドライブに差し込みます。IBM PC カード・データ/ファクス・モデムの場合は、**A:¥** のすぐ後ろに **win95** と入力します。

他の、PC カード・モデムをご使用の場合は、モデムに付属の説明書を参照してください。



- 7 「OK」をクリックします。ディスクレット・ドライブがデバイス・ドライバーの読み込みを始めます。

デバイス・ドライバーの読み込みが終了すると、次のウィンドウが表示されます。



これでモデムの PC カード・スロット 1 への取付けは完了しました。

- 注: PC カード・モデムのインストールが CardWizard によって終了できない場合、Windows 95 によってデバイス・ドライバーが自動的にインストールされません。

## PC カード・モデムをインストールする

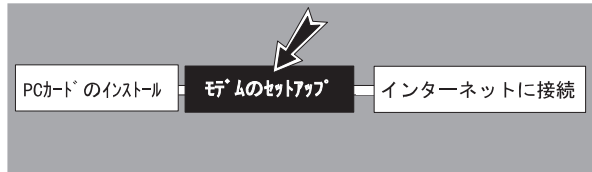
- 8 ウィンドウの右上の「X」をクリックしてウィンドウを閉じてください。

PC カード・モデムのインストールは完了です。モデムをセットアップするには、7ページの『モデムをセットアップする』に進んでください。 .

### Windows 95 を終了するには

ここで作業を終了したい場合は、35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して必ずシステムをシャットダウンしてください。

## モデムをセットアップする



モデムのセットアップは、次の 2 つのステップで行います。

1. 電話線の接続
2. モデムのプロパティの設定

### 電話線を接続する

この項では、電話線を ThinkPad に接続する方法について説明します。電話線を接続する前に、3ページの『PC カード・モデムをインストールする』の手順に従ってモデムのインストールを完了させておいてください。

注: ここでは、IBM PC カード・データ/ファックス・モデムを例にして説明します。IBM PC カード・データ/ファックス・モデム以外をご使用の場合、ご使用のモデムに付属の説明書を参照して電話線を接続してください。

注意:

この ThinkPad には公衆電話回線 (アナログ回線) だけが接続できます。デジタル回線には接続しないでください。アナログ回線以外の回線に接続すると、モデムに損傷を与えることがあります。

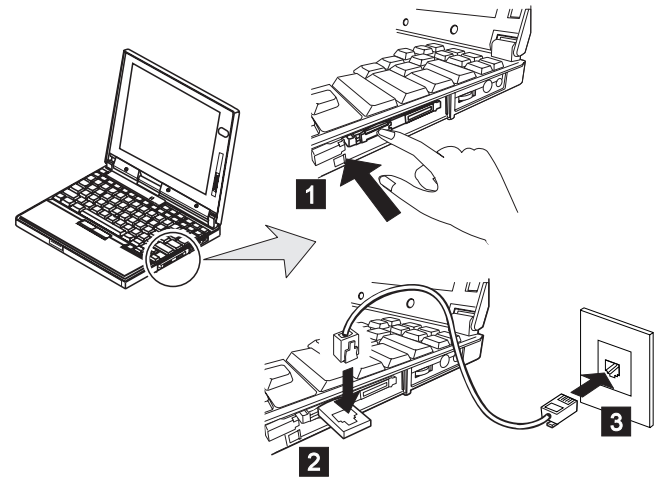


危険:

感電などの危険防止のため、雷雨時には絶対に電話線を電話プラグに接続したり、取り外したりしないでください。

次の手順に従って電話線を接続してください。

1. PC カード・モデムのプッシュ・ボタン 1 を押します。取付け口が飛び出します。
2. 電話線の一方の端を PC カード・モデム 2 の取付け口に差し込みます。
3. 次にもう一方の端 3 を壁などの電話プラグに差し込みます。



注: 一つの電話プラグに、ThinkPad と電話線を接続したい場合、分岐用電話プラグを PC ショップなどから購入してください。

## モデムをセットアップする

### モデムのプロパティを設定する

モデムのプロパティを設定するには、次の手順に従ってください。

- 1 ThinkPad の電源をオンにします。Windows 95 のデスクトップが画面に表示されます。“Windows 95 へようこそ” ウィンドウが表示される場合は、次の手順に従ってこのウィンドウを閉じてください。
  - a) 「**Windows** を次に起動するときも、このダイアログを表示する」に付いているチェック・マークを、クリックして取り除きます。
  - b) 「閉じる」をクリックします。
- 2 「マイ コンピュータ」をダブル・クリックします。
- 3 「コントロール パネル」をダブル・クリックします。

- 4 「モデム」をダブル・クリックします。つぎのウィンドウが表示されます。



- 5 プロパティ (「ダイヤルのプロパティ」ではありません) をクリックします。



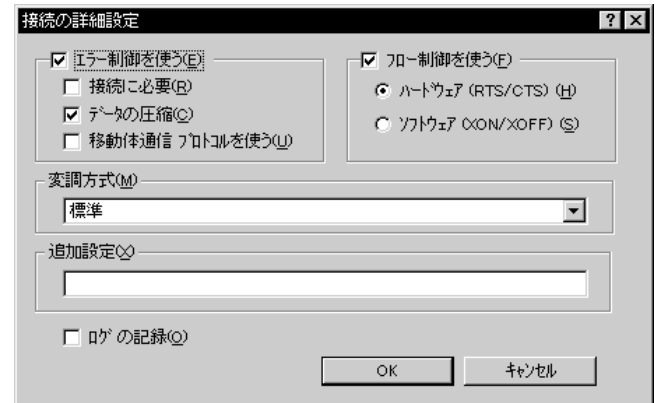
- 6 「接続」タブをクリックします。次のウィンドウが表示されます。



- 7 「詳細」をクリックします。「接続の詳細設定」ウィンドウが表示されます。

- 8 次のように設定します。

- 「エラー制御を使う」のチェック・ボックスに がついていなければ、クリックして をつけます。その後、「データの圧縮」をクリックします。
- 「フロー制御を使う」のチェック・ボックスに がついていなければ、クリックして をつけます。その後、「ハードウェア (RTS/CTS)」をクリックします。次のように項目が選択されていること確認します。

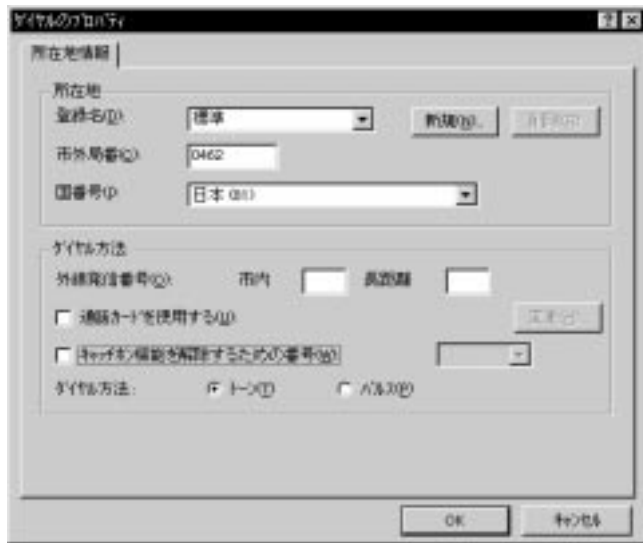


- 「OK」をクリックしてウィンドウを終了します。
- 「OK」をクリックして「モデムのプロパティ」ウィンドウに戻ります。

## モデムをセットアップする

- 9 「ダイヤルのプロパティ」をクリックすると、次のどちらかのウィンドウが表示されます。

次のウィンドウが表示された場合は、ステップ 10 (11 ページ) に進んでください。



- 次のウィンドウが表示された場合は、ステップ 13 (11 ページ) に進んでください。



- 10 IBM ThinkPad 560X 使ってみよう ThinkPad

**10** ユーザー情報を入力します。欄から欄への移動には Tab キーを使用します。

所在地情報の所在地に情報を入力します。

- 登録名  
ここでは標準のままにしておきますが、「新規」をクリックして、新しい名前をも登録することができます。
- 市街局番  
あなたの所在地の市外局番 (03 など) を入力します。
- 国番号  
 をクリックして国番号 (日本 81) を選択します。

ダイヤル方法に情報を入力します。

- 外線発信番号  
外線用の発進コード (市内用と長距離用) を入力します。ご使用の電話回線が外線に直結の場合は、空欄にしておいてください。
- 通話カード  
ここに マークを 付けない てください。
- キャッチホン機能を解除するための番号  
ここに マークを 付けない てください。
- ダイヤル方法  
トーンまたはパルスをクリックします。現在はトーン発信が一般的です。電話番号を押したときい

ろいろな高さの音 (「ピッ」「ポッ」など) が受話器から聞こえる場合は、トーン発信です。

**11** 「OK」をクリックして“モデムのプロパティ”ウィンドウに戻ります。

**12** 「閉じる」をクリックします。ステップ 16 (12ページ) に進んでください。

**13** ユーザー情報を入力します。欄から欄への移動には、Tab キーを使用します。

国番号

をクリックして国番号 (日本 81) を選択します。

市外局番

あなたの所在地の市外局番 (03など) をタイプします。

外線発信番号

外線用の発信コード (市内用と長距離用) を入力します。

ダイヤル方法

トーンまたはパルスをクリックします。現在はトーン発信が一般的です。電話番号を押したときいろいろ高さの音 (「ピッ」「ポッ」など) が受話器から聞こえる場合は、トーン発信です。

**14** 「OK」をクリックして“モデムのプロパティ”ウィンドウに戻ります。

**15** 「閉じる」をクリックします。

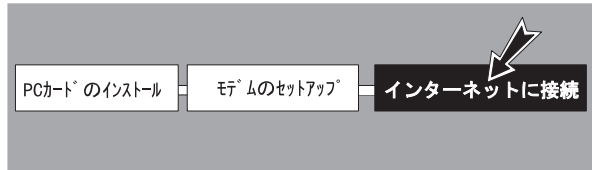
## モデムをセットアップする

**16** ウィンドウの右上の「X」をクリックして、“コントロールパネル”と“マイ コンピュータ”ウィンドウを閉じます。

ネットワークに接続するための準備が完了しました。これで、インターネットに接続することができます。

インターネットに接続するには ➡ 13ページの『インターネットに接続する』へ

## インターネットに接続する



この項の作業を開始する前に、モデムのセットアップが終了していることを確認してください。(7ページ参照)

### 注意

以下の操作を行うとIBM グローバル・ネットワーク・サービスにインターネット経由で自動的に接続されます。接続されると料金がかかりますのでご注意ください。なおこのサービスの登録時にクレジット・カードの番号が必要となります。

### 接続の準備をする

- 1 Windows 95 デスクトップで「スタート」をクリックします。
- 2 ポインターを「プログラム」に移動します。
- 3 「IBM インターネット」アイコンをクリックします。

IBM グローバル・ネットワークに初めて接続する場合、次の画面が表示されます。

初めての接続ではない場合、20ページの『IBM グローバル・ネットワークに接続する』に進んでください。



- 4 画面を読んで、必要なものがそろっていることを確認して、「次へ」をクリックします。

必要なら、すべてが「OK」になるまで、画面上の指示に従います。その後、「次へ」をクリックします。

## インターネットに接続する

次のウィンドウが表示されます。



もしあなたが個人用のインターネット・アカウントを持っている場合は、18ページの『個人用インターネット・アカウントを持っている場合』に進んでください。

もしあなたが法人用のインターネット・アカウントを持っている場合は、19ページの『法人用のインターネット・アカウントを持っている場合』に進んでください。

もし個人用、または法人用のどちらのアカウントもない場合は、次のステップに進んでください。

**5** 「いいえ、これから個人用のアカウントを登録します。」を選び、円をクリックしてマークをつけます。その後、「次へ」をクリックします。

**6** “ダイヤラーのセットアップ” ウィンドウが表示されたら内容に従います。必要な操作を行い「次へ」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



**7** 上の例を参考にして、すべての空欄を埋めていきます。その後、「次へ」をクリックします。

**8** 次に表示されるウィンドウでは、あなたがセットアップしたモデムがハイライト表示されていることを確認してください。

- 9 「次へ」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



- a) 「接続先の電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。
- b) 「接続先のバックアップの電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。

- 10 「次へ」をクリックします。「ダイヤラーのセットアップ」ウィンドウが表示されます。画面の指示を確認します。

- 11 「次へ」をクリックします。モデムが初期化され、ダイヤルがスタートします。ダイヤルのトーン音や電話がつながる音が聞こえます。数秒後、画面に「ログイン中...」と表示されます。数十秒後に次のオンライン登録のガイドが表示されます（時間帯によっては、回線がつながりにくい場合もあります）。

- 12 次のオンライン登録のガイド画面を読んで以降の操作を行なってください。



- 13 「次へ」をクリックすると、初期登録料、月額基本料や接続料などの説明が表示されます。画面の内容を確認し、「次へ」をクリックします。

インターネットに接続する

- 14** 次のウィンドウで名前や住所などを確認し、「次へ」をクリックします。



- 15** ウィンドウには、第 3 希望までのユーザー ID が表示されます。希望のユーザー ID を入力または変更します。その後、「次へ」をクリックします。

“サービス規約”ウィンドウが表示されます。

- 16** 規約の内容をよく読みます。

注: ウィンドウをスクロールするためには、マウス・ポインターを右下隅の ▼ に移動し、クリックします。

- 17** サービス規約に同意する場合は、画面の最後の部分にある「はい、サービス規約に同意します。」をクリックし、「次へ」をクリックします。

- 18** 次のクレジット・カード情報を入力するウィンドウが表示されます。▼ をクリックしてクレジット・カード名を選択し、すべての空欄を埋めます。



「次へ」をクリックします。

お客様の登録情報のウィンドウが表示されます。



**19** 表示されている情報が正しければ「実行」をクリックします。

正しくない場合は、「戻る」をクリックして、ステップ 18 (16ページ) からやり直してください。

「実行」を押すと、しばらくして“IBM ネットパスポートへようこそ!” ウィンドウが表示されます。

#### 重要

あなたのユーザー ID やパスワードなどの登録情報をすべてメモし、安全な場所に保管しておいてください。

**20** ウィンドウ下部の「終了」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



**21** 必要な設定を行い、「OK」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



**22** インターネットにいますぐに接続したい場合は、「はい、...」がマークされていることを確認し、「完了」をクリックします。20ページの『IBM グローバル・ネットワークに接続する』に進んでください。 .

インターネットにすぐに接続しない場合は、「いいえ、...」がマークされていることを確認し、「完了」をクリックします。「閉じる」をクリックします。ここで作業を終了したい場合は、35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して必ずシステムをシャットダウンしてください。

## インターネットに接続する

### 個人用インターネット・アカウントを持っている場合

- 1 個人用インターネット・アカウントを持っている場合を示す選択肢を選び、円をクリックしてマークをつけます。
- 2 「次へ」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



- 3 アカウント名とユーザー ID の両方に入力し、「次へ」をクリックします。
- 4 表示されたウィンドウで、あなたがセットアップしたモデムがハイライト表示されていることを確認します。その後、「次へ」をクリックします。

次のウィンドウが表示されます。



- a) 「接続先の電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。
- b) 「接続先のバックアップの電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。

- 5 「完了」をクリックします。

20ページの『IBM グローバル・ネットワークに接続する』に進んでください。

## 法人用のインターネット・アカウントを持っている場合

- 1 法人用のインターネット・アカウントを持っている場合を示す選択肢を選び、円をクリックしてマークをつけます。
- 2 「次へ」をクリックすると、次のウインドウが表示されません。



アカウント名とユーザー ID の両方を入力し、「次へ」をクリックします。

- 3 インターネットに接続したい場合は、「インターネット」をクリックしてマークを付け、その後、「次へ」をクリックして次のステップに進みます。

「自社イントラネット」または「自社イントラネット及びインターネット」に接続したい場合は、あなたの会社の IT 部門 (情報技術) の担当者に連絡してください。

- 4 表示されたウインドウで、あなたがセットアップしたモデムがハイライト表示されていることを確認します。その後、「次へ」をクリックします。

- 5 次のウインドウが表示されます。



- a) 「接続先の電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。
- b) 「接続先のバックアップの電話番号を選択/変更・・・」の欄の「変更」をクリックします。国、県や州、都市、リダイヤル回数などを選択します。その後、「OK」をクリックします。

- 6 「完了」をクリックします。

20ページの『IBM グローバル・ネットワークに接続する』に進んでください。

インターネットに接続する

## IBM グローバル・ネットワークに接続する

IBM グローバル・ネットワークに接続するには、次の手順に従います。

- 1 次のウィンドウで、ログイン プロファイルを選択し、パスワードを入力します。



- 2 「接続」をクリックします。モデムが初期化され、ダイヤルがスタートします。

インターネットに正しく接続され、これが初めての接続だった場合、しばらくすると次のようなウィンドウ

が表示されます。表示される画面は、時期によって異なります。



「OK」をクリックし、ステップ 3 (21ページ) に進んでください。

インターネットに正しく接続され、これが初めての接続ではない場合で、以前に「Netscape 使用許諾契約」ウィンドウで「同意する」をクリックした場合は、ステップ 4 (21ページ) に進みます。

以前に一度も「Netscape 使用許諾契約」ウィンドウで「同意する」をクリックしていない場合は、ステップ 3 (21ページ) に進みます。

インターネットに正しく接続されなかった場合、「キャンセル」をクリックしていったん終了し、しばらくしてから再試行してください。

**3** 次の「Netscape 使用許諾契約」ウインドウが表示されます。

「同意しない」をクリックした場合は、ステップ 5 (22ページ) に進みます。

「同意する」をクリックした場合は、ステップ 4 に進みます。

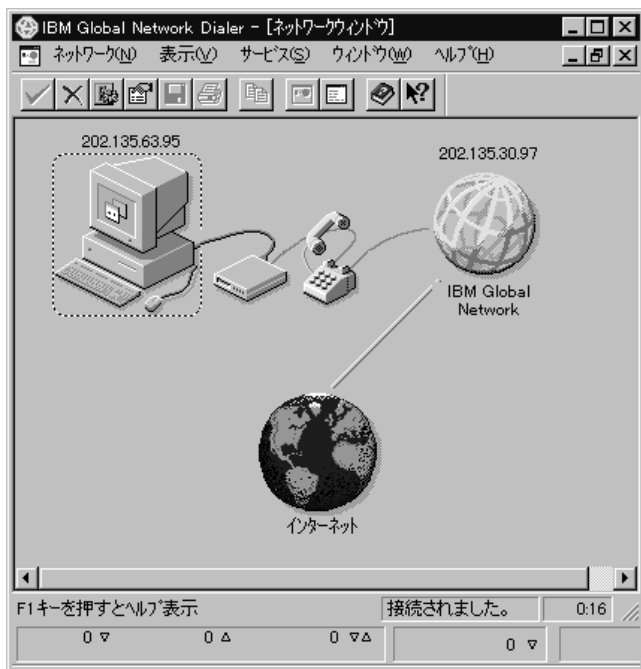


**4** 次の「IBM INTERNET CONNECTION」ウインドウが表示されます。次のステップに進みます。



インターネットに接続する

- 5 次の「IBM Global Network Dialer - ネットワーク ウィンドウ」が表示されます。



「IBM Global Network Dialer - ネットワーク ウィンドウ」の「インターネット」アイコンをクリックします。

- 6 次の「インターネット サイト」ウィンドウで、日本 IBM のホームページをダブル・クリックします。



7 次の日本 IBM のホーム・ページが表示されます。



上の画面は、「Netscape 使用許諾契約」ウィンドウで「同意しない」をクリックした場合の画面を表示していません。

注意

日本 IBM ホーム・ページは適宜更新されるため、実際に画面上に表示されているものと上記のウィンドウ例とは異なっていることがあります。

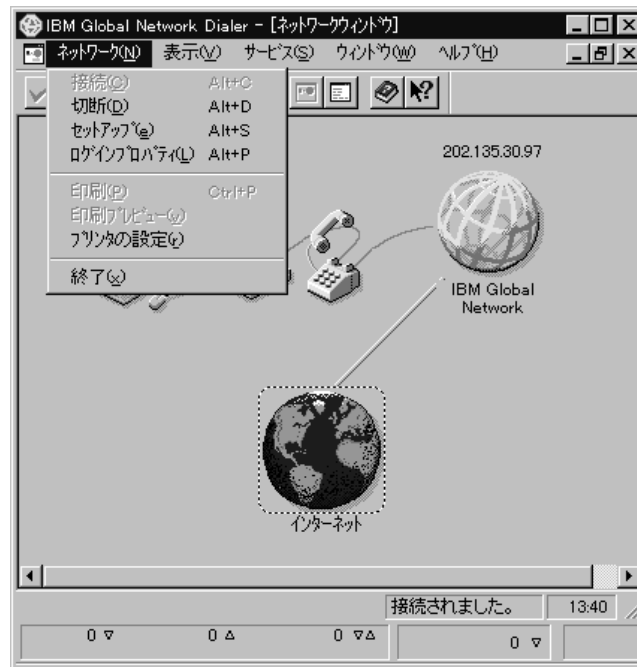
おめでとうございます！以上でインターネットへの接続は成功しました。

## インターネットに接続する

インターネットへの接続を終了するには、次の手順に従ってください。

- 1 「Netscape 使用許諾契約」ウインドウで「同意する」をクリックした場合は、「IBM INTERNET CONNECTION」、「日本 IBM ホームページ」と「インターネット サイト」、「同意しない」をクリックした場合は、「日本 IBM ホームページ」と「インターネット サイト」ウインドウの右上隅の「X」をクリックして、各ウインドウを終了します。

- 2 次のウインドウ上部のメニュー・バーにある「ネットワーク」をクリックします。





- 3** プルダウン・メニューから「切断」をクリックすると、次の確認メッセージが表示されます。



- 4** 「はい」をクリックします。

- 5** 「IBM Global NETWORK Dialer - ネットワーク ウィンドウ」の右上隅の「X」をクリックして終了します。

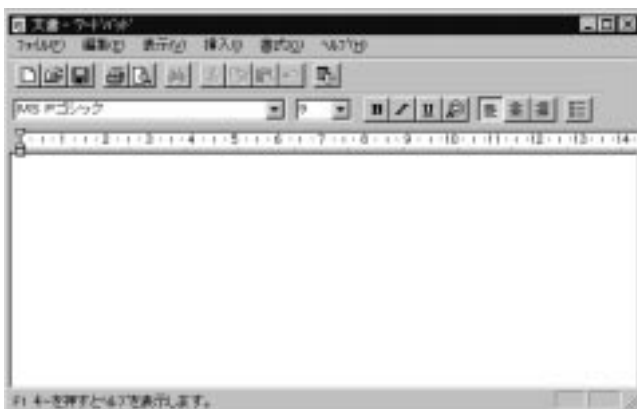
35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して ThinkPad をシャットダウンしてください。

レターを作成する

## レターを作成する

Windows 95 のアクセサリ・ソフトのワードパッドを使ってレターなど文書を作成することができます。レターを作成するには、以下の手順に従ってください。

- 1 ThinkPad の電源をオンにし、Windows 95 デスクトップで「スタート」をクリックします。
- 2 マウス・ポインターを「プログラム」から「アクセサリ」に移動し、次に「ワードパッド」をクリックします。“文書 - ワードパッド” ウィンドウが表示されます。



- 3 空欄にレターの内容を入力します。以下は海外へ送るレターの見本です。




このレターを印刷したい場合は、28ページの『レターを印刷する』に進んでください。

このレターを保存したい場合は、次の項に進んでください。


### Windows 95 を終了するには

ここで作業を終了したい場合は、35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して必ずシステムをシャットダウンしてください。

## レターを新しいフォルダーに保存する

- 1** 文書-ワードパッドのツール・バーで、をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



- 2** をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



- 3** Backspace キーを押して、「新しいフォルダー」欄に「サンプル」とタイプし、Enter キーを押します。

“サンプル”という名前の新しいフォルダーが作成されました。

- 4** サンプルをクリックして、「サンプル」フォルダーを開きます。

- 5** レターに名前 (ファイル名) テストを付け、Enter キーを押します。

レターはハード・ディスク・ドライブの「サンプル」という名前のフォルダーに保存されました。

以上でレターの作成と保存は完了です。

レターを印刷する

## レターを印刷する


プリンターを持っている場合は、レターやプレゼンテーション用パッケージを簡単に印刷できます。

ThinkPad のセットアップをはじめて行ったときにプリンターを接続しなかった場合は、この項の手順に沿ってレターを印刷する前にプリンターを ThinkPad に接続する必要があります。

すでにプリンターを ThinkPad に接続している場合は、31ページの『レターを印刷する』に進んでください。

### プリンターを接続する

プリンターは簡単に ThinkPad に接続できます。Windows 95 は多くのプリンターに対応しており、それらのデバイス・ドライバを用意しています。しかし、もしお使いのプリンターが Windows 95 の「プリンタ」リストに載っていない場合は、プリンターに付属のドライバー・ディスクをご用意ください。

- 1 プリンター・ケーブルを、プリンターと ThinkPad 背面の  
パラレル・コネクタ  に接続します。
- 2 プリンターの電源をオンにします。
- 3 ThinkPad の電源をオンにします。
- 4 「マイ コンピュータ」をダブルクリックします。
- 5 「プリンタ」をダブルクリックします。

- 6 「プリンタの追加」をダブルクリックします。次のウィンドウが表示されます。「次へ」をクリックします。



- 7 次のウィンドウが表示されます。



**8** お持ちのプリンターのメーカー名を「製造元」リストから捜します。リストをスクロールするには、ウィンドウの▼をクリックします。メーカー名をクリックします。

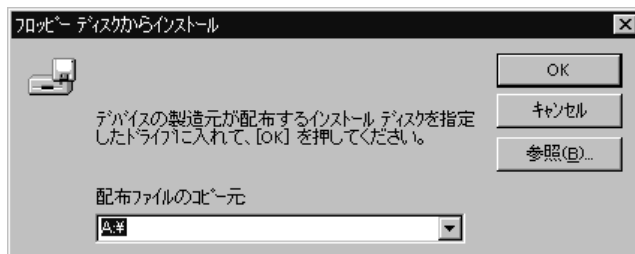
**9** 「プリンタ」リストからお使いのプリンターの型番を捜します。リストをスクロールするには、ウィンドウの▼をクリックします。

プリンターがリスト内にあったら、それをクリックします。その後、「次へ」をクリックし、ステップ 12 に進みます。

ここでは、IBM 社製プリンター、5584-G02/H02 を選択します。その後、「次へ」をクリックし、ステップ 12 に進みます。

「プリンタ」リストに載っていなかった場合は、「ディスクを使用」をクリックします。次のステップに進みます。

**10** 次のようなウィンドウが表示されたら、プリンター付属のドライバー・ディスク (複数ある場合は一枚目) を ThinkPad のディスク・ドライブに差し込みます。



**11** 「OK」をクリックします。お使いのプリンターを「プリンタ」リストから選択し、「次へ」をクリックします。次のウィンドウが表示されます。



**12** LPT1 がハイライト表示されていることを確認し、「次へ」をクリックします。次のようなウィンドウが表示されます。

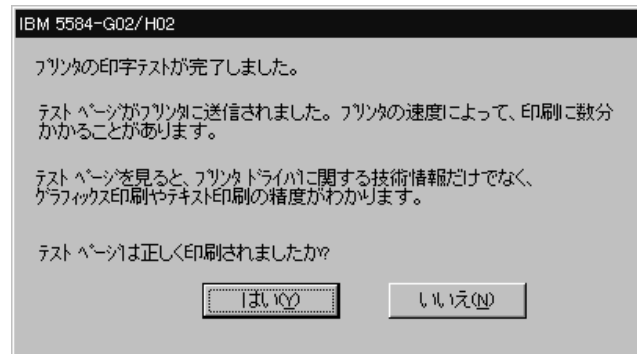


## レターを印刷する

- 13** Windows アプリケーションから印刷指示をするための、いま設定したプリンターを省略時プリンターとして設定しておきたい場合は、「はい」をクリックしてマークを付けます。



- 14** 「完了」をクリックします。デバイス・ドライバー・デスクレットの読み込みが開始されます。プリンターが Windows 95 のテスト・ページの印刷を開始します。テスト・ページの印刷が完了すると、次のウィンドウが表示されます。



- 15** 「はい」をクリックします。その後、ウィンドウ右上隅の「X」をクリックして“プリンタ”、“マイ コンピュータ”ウィンドウを閉じます。

以上でプリンターの接続は完了です。

### Windows 95 を終了するには

ここで作業を終了したい場合は、35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して必ずシステムをシャットダウンしてください。

**レターを印刷する:** 先ほど作成したレターを印刷するには、次の手順に従ってください。

- 1 ワードパッドの「ファイル (F)」メニューをクリックし、そして、「印刷 (P)」をクリックすると、次のウィンドウが表示されます。



- 2 「OK」をクリックします。プリンターが印刷を開始します。

以上でレターの印刷は完了です。


**Windows 95 を終了するには**

ここで作業を終了したい場合は、35ページの『Windows 95 を終了する』を参照して必ずシステムをシャットダウンしてください。


## 外付けモニターを接続する


ThinkPad には外付けディスプレイ・コネクタが付いており、CRT モニターやオーバー・ヘッド・プロジェクターなどの外付けモニターを取り付けることができます。

外付けモニターを接続するには、次の手順にしたがってください。

- 1 ThinkPad と外付けモニターの電源がオフになっていることを確認してください (1参照)。
- 2 外付けモニターの信号ケーブルを ThinkPad 背面の外付けディスプレイ・コネクタ (  ) に接続します。
- 3 先に外付けモニターの電源をオンにし、次に ThinkPad の電源をオンにします。Windows 95 デスクトップが外付けモニターにのみ表示されます。
- 4 「マイ コンピュータ」をダブル・クリックします。
- 5 「コントロール パネル」をダブル・クリックします。
- 6 「ThinkPad 機能設定」をダブル・クリックします。次のウィンドウが外付けモニターに表示されます。



Windows 画面を外付けモニターと ThinkPad の液晶ディスプレイの両方に表示させる場合は、ツール・バーの  をクリックします(画面の表示が数秒後に変わります)。

ThinkPad の液晶ディスプレイにのみ表示する場合は、 をクリックします。

外付けモニターにのみ表示する場合 (モニターのケーブルが接続された直後はこの設定になっています)


は、ツール・バーの  をクリックします。

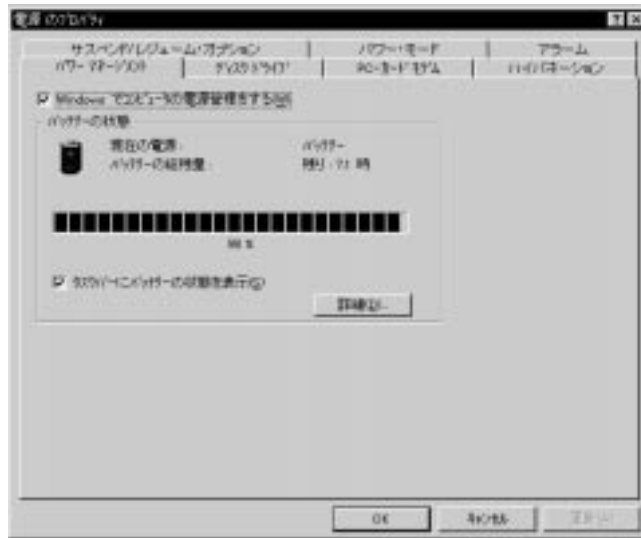
おめでとうございます！以上で外付けモニターの接続は完了しました。

1 35ページの『Windows 95 を終了する』をご覧ください。



外付けキーボード（およびマウス）と外付けモニターを使用する場合に、**ThinkPad** の液晶ディスプレイを閉じたまま使用する方法を説明します。次の手順に従ってください。

- 1 「ThinkPad 機能設定」ウインドウの  をクリックします。次のウインドウが表示されます。



- 2 「サスペンド/レジューム・オプション」タブをクリックします。次のウインドウが表示されます。




## 外付けモニターを接続する

- 3 「LCD を閉じてもサスペンドしない」のチェック・ボックスに が付いていなければ、クリックして を付けます。
- 4 「OK」をクリックします。その後、Windows 95 デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じます。
- 5 Windows 95 を再始動してください。 .

これで、ThinkPad の液晶ディスプレイを閉じて、外付けモニターを ThinkPad の液晶ディスプレイの替りに使用することができます。

外付けモニターを取り外すには、次の手順に従ってください。

- 1 画面が外付けモニターにのみ表示されていることを確認するために、 をクリックしてください。
- 2 Windows 95 デスクトップ上のすべてのウィンドウを閉じます。
- 3 ThinkPad と外付けモニター両方の電源をオフ (2参照) にします。
- 4 ThinkPad からモニター・ケーブルを取り外します。

---

2 35ページの『Windows 95 を終了する』をご覧ください。

## Windows 95 を終了する

ThinkPad の操作を終了して、電源をオフにしたい場合は次の手順に従ってください。

- 1 画面の左下隅の「スタート」をクリックします。

次のウインドウが表示されます。



- 2 「Windows の終了」をクリックします。

確認メッセージが表示されます。

- 3 「はい」をクリックします。

ThinkPad の電源をオフにします。



本書において、日本では発表されていない IBM 製品、(機械およびプログラム)、プログラミングまたはサービスについて言及または説明する場合があります。しかし、このことは、弊社がこのような IBM 製品、プログラミングまたはサービスを、日本で発表する意図があることを必ずしも示すものではありません。本書で、IBM ライセンス・プログラムまたは他の IBM 製品に言及している部分があっても、このことは当該プログラムまたは製品のみが使用可能であることを意味するものではありません。これらのプログラムまたは製品に代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等な他社のプログラム、製品またはサービスを使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、これらのプログラムまたは製品に関連する稼働の評価および検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM および他社は、本書で説明する主題に関する特許権 (特許出願を含む) 商標権、または著作権を所有している場合があります。本書は、これらの特許権、商標権、および著作権について、本書で明示されている場合を除き、実施権、使用权等を許諾することを意味するものではありません。実施権、使用权等の許諾については、下記の宛先に、書面にてご照会ください。

〒106 東京都港区六本木 3 丁目 2-31  
AP 事業所  
IBM World Trade Asia Corporation  
Intellectual Property Law & Licensing

## 商標

本書において使用されている次の用語は、米国およびその他の国におけるIBM 社の商標です。

IBM  
ThinkPad  
TrackPoint

Microsoft、Windows、および Windows 95 は、Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

CardWorks および CardWizard は、SystemSoft Corporation の商標です。



IBM

部品番号: 05K7599

Printed in Japan

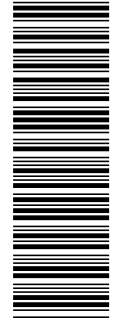
Title: C79DRMST CreationDate: 10/05/97 12:15:36

日本アイビーエム株式会社

東京都港区六本木 3-2-12 〒 106  
TEL (03) 3586-1111



SA88-5996-



5K7599



&

**Labels**

<u>Labels</u>	<u>Page</u>
(Connecting the line)	7

**Table Definitions**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SHAD	C79DRSET	i	16

**Headings**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
ELCSAFT	C79DRVNT	iii	安全に正しくお使いいただくために
CHAP1	C79DRMST SCRIPT	1	使ってみよう ThinkPad
765L	C79DRMST SCRIPT	3	PC カード・モデムをインストールする
MWAVE	C79DRMST SCRIPT	7	7
		7	モデムをセットアップする
		6, 13	
LINE	C79DRC1A	7	電話線を接続する
INTP	C79DRMST SCRIPT	13	インターネットに接続する
		12	
SETIN	C79DRC1D	13	接続の準備をする
PIA	C79DRC1D	18	個人用インターネット・アカウントを持っている場合
		14	
BUS	C79DRC1D		

&

		19	法人用のインターネット・アカウントを持っている場合 14
NETWK	C79DRC1D	20	IBM グローバル・ネットワークに接続する 13, 17, 18, 19
WORDP	C79CPC1J	26	レターを作成する
SAVE	C79CPC1J	27	レターを新しいフォルダーに保存する
PRINT	C79CPC1K	28	レターを印刷する 26
PTL	C79CPC1K	31	レターを印刷する 28
ECRT	C79DRC1L	32	外付けモニターを接続する
SHUTDN	C79DRC1O	35	Windows 95 を終了する 6, 17, 25, 26, 30, 31, 32, 34
NOTICES	C79DRAPA	37	付録A, 特記事項 ii
TRADEM	C79DRAPA	38	商標

List Items

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
A	C79DRC1F	4	3 4
B	C79DRC1F	4	5 4
WIZARD	C79DRC1F	5	7
C	C79DRC1F	6	8 4
2	C79DRC1A	11	10 10

&

1	C79DRC1A	11	13	10
3	C79DRC1A	12	16	11
SUTC	C79DRC1D	13	1	
CRCD	C79DRC1D	16	18	17
PACC	C79DRC1D	18	4	
NETV	C79DRC1D	21	3	20, 20
NETFVV	C79DRC1D	21	4	20, 21
NETFV	C79DRC1D	22	5	21
LPT	C79CPC1K	29	12	29, 29

**Footnotes**

<u>id</u>	<u>File</u>	<u>Page</u>	<u>References</u>
SHDN	C79DRC1L	32	1 32
SHDN1	C79DRC1L	34	2 34

**Processing Options**

Runtime values:

Document fileid ..... C79DRMST SCRIPT  
Document type ..... USERDOC  
Document style ..... C79DRMST  
Profile ..... EDFPRF40  
Service Level ..... 0014  
SCRIPT/VS Release ..... 4.0.0  
Date ..... 97.10.05  
Time ..... 12:15:36  
Device ..... PSA90  
Number of Passes ..... 2  
Index ..... YES  
SYSVAR G ..... INLINE  
SYSVAR R ..... FUKU  
SYSVAR W ..... FUKU  
SYSVAR X ..... ALL

Formatting values used:

Annotation ..... NO  
Cross reference listing ..... YES  
Cross reference head prefix only ..... NO  
Dialog ..... LABEL  
Duplex ..... YES  
DVCF conditions file ..... (none)  
DVCF value 1 ..... (none)  
DVCF value 2 ..... (none)  
DVCF value 3 ..... (none)  
DVCF value 4 ..... (none)  
DVCF value 5 ..... (none)  
DVCF value 6 ..... (none)  
DVCF value 7 ..... (none)  
DVCF value 8 ..... (none)  
DVCF value 9 ..... (none)  
Explode ..... NO  
Figure list on new page ..... YES  
Figure/table number separation ..... YES  
Folio-by-chapter ..... NO  
Head 0 body text ..... (none)  
Head 1 body text ..... (none)  
Head 1 appendix text ..... 付録  
Hyphenation ..... NO  
Justification ..... NO

&

Language ..... JAPA  
Keyboard ..... 395  
Layout ..... OFF  
Leader dots ..... YES  
Master index ..... (none)  
Partial TOC (maximum level) ..... (none)  
Partial TOC (new page after) ..... INLINE  
Print example id's ..... NO  
Print cross reference page numbers ..... YES  
Process value ..... (none)  
Punctuation move characters ..... (none)  
Read cross-reference file ..... FUKU  
Running heading/footing rule ..... NONE  
Show index entries ..... NO  
Table of Contents (maximum level) ..... (none)  
Table list on new page ..... YES  
Title page (draft) alignment ..... CENTER  
Write cross-reference file ..... FUKU

**Imbed Trace**

Page 0 C79DRSET  
Page i C79DRVNT  
Page 3 C79DRC1F  
Page 7 C79DRC1A  
Page 13 C79DRC1D  
Page 26 C79CPC1J  
Page 28 C79CPC1K  
Page 32 C79DRC1L  
Page 35 C79DRC1O  
Page 36 C79DRAPA  
Page 37 E1D9SNT  
Page 37 E1D9PAT